

乳癌 27

対象疾患: (HER2 陽性) 乳癌

## 【0227】TCbHP 療法

※初回投与時は「乳癌 27a TCbHP 療法【初回用】」を使用してください

## 【投与スケジュール】 1コース=21日

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
ドセタキセル	ドセタキセル	DTX、DOC、TXT	75 mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1		
カルボプラチン	カルボプラチン	CBDCA	AUC6	↓ Day1		
ペルツズマブ	パージェタ	PER	(初回のみ 840mg/body) 420mg/body	↓ Day1		
トラスツズマブ	トラスツズマブ	HER、Tmab	(初回のみ 8mg/kg) 6mg/kg	↓ Day1		

## 【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
<b>Day1</b>			
内服	アプレピタントカプセル 125mg	1 カプセル	カルボプラチン開始 60~90 分前
①	パロノセトロン 0.75mg	1 本	30 分
	デカドロン 3.3mg/1mL	3 本	
	生理食塩液 100mL	1 本	
②	ドセタキセル	75mg/m <sup>2</sup>	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	カルボプラチン	AUC6	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
④	パージェタ	420mg/body	30 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑤	トラスツズマブ	6mg/kg	30 分
	注射用水	(※)適量	
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑥	生理食塩液 50mL	1 本	ルートリンス

Day1 の点滴が終了してから 24 時間以降にジーラスト投与が推奨される

(※)トラスツズマブ 1 パリアル (150mg) あたり注射用水 7.2mL に溶解、必要量抜取り

催吐性	パージェタ: 最小度リスク トラスツズマブ: 最少度リスク ドセタキセル: 低リスク カルボプラチン: 中等度(高度リスクに準じる)
-----	---

組織傷害性	<p>パージェタ:非炎症性(メーカー回答)</p> <p>トラスツズマブ:非炎症性</p> <p>ドセタキセル:壊死性</p> <p>カルボプラチン:炎症性</p>
代表的副作用	<p>パージェタ:</p> <p>骨髄抑制、Infusion Reaction、アナフィラキシー、過敏症、間質性肺疾患、左室機能不全</p>
	<p>トラスツズマブ</p> <p>&gt;10%…Infusion Reaction(約40%)</p> <p>1~10%…左室駆出率低下</p>
	<p>ドセタキセル</p> <p>&gt;10%…骨髄抑制、悪心嘔吐、脱毛、倦怠感、末梢神経障害、皮疹、爪の変化、感染</p> <p>&lt;1%…浮腫、体液貯留(胸水など)</p>
	<p>カルボプラチン</p> <p>&gt;10%…骨髄抑制(特に血小板減少)、悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、電解質異常、アレルギー反応</p>

## 【注意事項】

G-CSF の一次予防投与が推奨される(Day2以降にジーラスタ投与など)

(パージェタ)

- 初回投与は 60 分投与とし、忍容性が良好ならば、2 回目以降は 30 分に短縮可能である
- 前回投与から 6 週以上の時は初回量で行う。

(トラスツズマブ)

- 初回投与は 90 分投与とし、忍容性が良好ならば、2 回目以降は 30 分に短縮可能である

(ドセタキセル)

- 添加物として無水エタノールを含有しない

レジメン登録承認	2023 年 1 月 化学療法委員会
参考資料	乳癌診療ガイドライン ①治療編 2022 年版